

慶應大学病院研修医 18 人集団感染 約 40 人で会食の事実も判明

慶應義塾大学病院（東京都新宿区）の初期臨床研修医 18 人が新型コロナウイルスに集団感染していることが明らかになった。同病院の初期臨床研修医約 40 人が集団で会食していたことも分かっている。慶應義塾大学病院は 6 日、「患者を守るべき医療者として許されない行為であり、医師としての自覚が欠如していたと言わざるを得ない」という北川雄光病院長のおわびの言葉とともに、この事実を公表した。



慶應義塾大学病院（慶應義塾大学病院ホームページから）

同病院によると、3 月 31 日に研修を修了した初期臨床研修医 1 人が PCR 検査で感染が確認された。同病院での研修後、4 月 1 日から他の施設での後期研修を開始する予定だった人間も含めて、初期臨床研修医 99 人を 14 日間自宅待機とし、全員に PCR 検査を施行した。この結果、6 日の時点で 18 人が陽性と分かった。18 人は同病院に入院し、PCR 検査で陰性となった人間を含め、他の初期臨床研修医全員も 14 日間の自宅待機を続けさせているという。

約 40 人が集団で会食していたことは、3 月 31 日に最初に PCR 検査で感染が分かった一人の接触者調査をしている過程で明らかになった。ただし、今回、PCR 検査で陽性と分かった 18 人の中には集団で会食したことが分かった約 40 人以外の初期臨床研修医も含まれている。同病院は接触者調査を引き続き行っている、としている。

同病院では、3 月 26 日に初めて入院患者から 3 人の新型コロナ感染者が見つかった。感染症の症状がなく別の治療のため入院している患者が、感染源と考えられている。100 人を超す患者、医師の感染者が出ている東京都台東区の永寿総合病院から転院してきた患者だ。翌 27 日にはさらに患者 1 人、看護師 2 人の新型コロナウイルス感染が確認された。以来、永寿総合病院と仕事上関連があった医師に対する調査のほか、PCR 検査で陰性とわかった

病院関係者も最終勤務日から 14 日間の自宅待機をさせるなど、引き続き感染の拡大防止に努めている、と同病院は言っている。

慶應義塾大学病院は、3 月 27 日以前に予約した人を除き、新規の外来初診受付を原則停止する措置を続けている。

日文 小岩井忠道 (JST 客観日本編集部)

【関連サイト】

慶應義塾大学病院「新型コロナウイルス感染症に関する当院の状況について」(2020 年 4 月 6 日)

<http://www.hosp.keio.ac.jp/oshirase/important/detail/40123/>

慶應義塾大学病院「外来診療の制限について [新型コロナウイルス関連] (3 月 31 日更新)」

<http://www.hosp.keio.ac.jp/oshirase/important/detail/40098/>

慶應義塾大学病院「新型コロナウイルス感染症発生のお知らせ」(2020 年 03 月 26 日)

<http://www.hosp.keio.ac.jp/oshirase/important/detail/40094/>